

科目名	スポーツ健康福祉学概論					開講 キャンパス	神 埼
担当者	管 原 正 志・福 本 敏 雄						
開講年次	1	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	人間が生涯にわたり自立した生活を営むためにスポーツ、健康、福祉の面より個人、家族、地域、社会について考える。授業では、個人を取り巻く生活と健康、健康を支え守るための社会環境の整備、家庭生活の基本機能やライフスタイル、及び生活環境や社会構造等に着目し、生活と社会の関わりや福祉の制度及び個人の尊厳について解説する。						
授業の 到達目標	①健康・福祉の概念を理解できる。 ②スポーツ、健康、福祉に関する諸問題を考える上で必要となる知識と方法を身につけている。 ③習得した知見に基づいて運動指導を分析し、問題解決に活用できる。 ④健康日本21（第2次）について理解できる。 ⑤身体活動指針について理解できる。 ⑥ライフステージ毎の健康づくりに関心を持つようになる。 ⑦障がい者の健康・福祉に関心を持つようになる。						
学習方法	講義では、プリント、スライド、ビデオ等を使用して解説する。						
テキスト及 び参考書等	必要に応じ資料を配付する。						
評価基準・方法	到達目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎					60	
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	○	○			25	
授業態度		○	○	○		15	
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	身体活動と健康との関係について						
第 2 週	身体活動と福祉との関係について						
第 3 週	健康の概念と社会保障制度について						
第 4 週	健康づくりの施策について						
第 5 週	生活習慣病について						
第 6 週	ライフステージと健康福祉について						
第 7 週	地域における健康福祉について						
第 8 週	親と子の健康福祉について-子どもを取り巻く現状と課題-						
第 9 週	障がい児・者の健康福祉について						
第 10 週	保健・医療・福祉の連携について						
第 11 週	運動の基準と指針について						
第 12 週	健康づくりのためのスポーツ・レクリエーションについて						
第 13 週	障がい者のスポーツ・レクリエーションについて						
第 14 週	高齢者のスポーツ・レクリエーションについて						
第 15 週	福祉社会にけるスポーツ・レクリエーションの役割について						
第 16 週	定期試験						
備 考	事前事後学習については授業ごとに指示を行う。						